

寺報

No.605

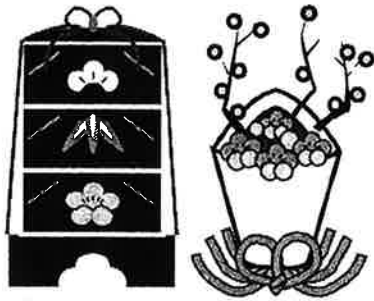
平成30年1月

蓮華寺
發行

御聖訓

元三がんざんの内うちに十字むしもち九十枚まい、満月まんげつの如ごとし、心中しんちゅうもあきらかに、生死しよじのやみもはれぬべし、あわれなりあわれなり。

『上野殿御返事』



(解説)

この年身延山は、前年十一月より豪雪で、道もふさがれ、訪れる人もほとんどいなかった様でした。その中、正月三日のまだ清新な香気があふれる時、駿河の信者の上野殿からお餅を初め数々のお供物を戴く事が出来ました。

日蓮大聖人はその時のお志しが誠に有り難く、心からの感謝の気持ちを現わしたのがこのお手紙です。お正月を迎え、すがすがしい気持ちの中での、訪問は非常にありがたかつたらしく、文中で「あわれなり、あわれなり(有り難い)」と重ねてお礼を申しています。

現代はこの感謝の気持ちが忘れられ、親子、兄弟、更に他の人との関係にも亀裂が生じてきています。だが、我々がこの大聖人が持たれた報恩感謝の心情を忘れずに、法華経・お題目の信仰を続ける事が出来たなら、この社会もより良くなるでしょう。どうか皆様も、強い信念を持って、前向きに今年も信仰生活を営んでいこうではありませんか。

新年のご挨拶

檀信徒の皆様、新年明けましておめでとうございませす。

現代は時間の進みが速く感じられ、あつという間に一年が終つてしまいます。

まさにスピードの時代といえます。

科学万能の世の中は、ある意味では便利で素晴らしいものですが、その反面残念ながら心の問題で悩む人が多く、心の貧しい時代になりつつもあります。

また信仰面でも希薄さが見られ、神仏を粗末に扱う人や、逆におかしな教えの宗教に走つてしまう人などがいて、しっかりと信仰が定まっていけない様です。

日蓮大聖人が「信心というのは別に難しい事ではありませんよ、例えば奥さんが檀那さんを慕うがように、また檀那さんが奥さんを大切にするように、法華経・お釈迦様・諸天善神等を大事にし、南無妙法蓮華経とお題目を唱える、それだけでいいんですよ」と教えられて

いる事は、今も昔も変わらぬ信仰心の有り方であり例え時代がどう移り変わろうとも、我々が譲らなければ

ならない心構えなのであります。

日蓮宗では、これまでお題目を唱えていなかった人達を、お題目信仰に入らせる運動を展開していますが、中々その成果が現れてこないのが現状だそうです。

しかし我々僧侶も、靈断・靈神符(毎月のお守り)・御祈符をもつて、微力ながらも活動し続けています。

願わくば檀信徒の皆様も、未信の方々をお寺に導いて教化のお手伝いをして欲しいと思います。

毎月靈神符を所持している方は、皆お題目を熱心に唱え、また弘める信仰者でなければなりません。

大聖人は「日蓮が「類は異体同心なれば、人々少く候へども大事を成じて、一定法華経弘まりなん」とい

い、日蓮宗の信仰者は『異体同心』の心を常に持ち続け活動して戴きたいと教えています。

今日まで日蓮宗の信仰が弘まってきたのは、この異体同心の行動があつたからだと思ひます。どうか皆様も、迷う事なく法華経・お題目の信仰を持ち、心を安定させ、自らと更に他の人の幸福をお祈りし、今年も良い年にしていこうではありませんか。それには、まず毎月靈神符を着体して下さい。

寒修行に参加しましょう！

日蓮大聖人は「過去の因を知らんと欲せば、その現在の果を見よ、未来の果を知らんと欲せば、その現在の因を見よ。」と教えています。

つまり、現在の我々の苦の原因となつています過去の重罪を、何とかして今の世で消滅しなければ、未来もこの苦から決して免れる事は出来ないという事です。

現代人は、何でも自分の思うようにならないと、その責任を社会や他人のせいにしてしまいますが、本当の原因は自分自身にあるのです。

したがって、これを今の代の自分が自ら断ち切り、そして懺悔(反省)し、次まで絶対持ち越さないようにしていかねばならないのです。

大聖人は、それには『南無妙法蓮華経』のお題目を唱えるしか解決方法はないといたしました。

どうか皆様も、是非この教えを元に、お寺で一心に唱題行をしましょう。

また、仏様や先祖の供養の為、そして各家の家内安全や家族の身体健全を祈る事も大事でしょう。

一月五日(金)～二月二日(金)迄二十九日間

午後七時より一時間(小本堂)

次第

- 礼拝文「謹みて礼拝し奉る」【4ページ】
- 開経偈「無上甚深微妙の」【6ページ】
- 読経「如来寿量品第十六」【13ページ】
- 懺悔文「夫れ懺悔は治病の」【47ページ】
- 御妙判「祈 禱 鈔」【67ページ】
- 御題目「南無妙法蓮華経」【72ページ】
- 宝塔偈「此経難持の」【72ページ】
- 回向文「導師が唱えます」【76ページ】
- 四誓願「誓つて南無妙法」【76ページ】
- 三整唱「なむめう」【77ページ】
- 弾指合掌(祈りを込めます)

④なお「寒修行」ですので、暖房は致しませんので、各自防寒の用意をして来て下さい。

全員イス席での修行となります。

持参品・聖典・数珠・団扇太鼓(所有の者)

みんなが参拝しまじり

節分会のお知らせ 二月三日(土)

午後六時開始

男性大厄

数え二十五歳	平成六年生れ
数え四十二歳	昭和五十二年生れ

女性大厄

数え十 九歳	平成十二年生れ
数え三十三歳	昭和六十一年生れ

大正十一年生れ

年男・年女
(戌年)

昭和九年・二十一年・三十三年・ 四十五年・五十七年生れ
平成六年・十八年・三十年生れ

その他

・前厄・後厄(厄年の前後)
・還暦(六十一歳)・古稀(七十歳) ・喜寿(七十七歳)・傘寿(八十歳) ・米寿(八十八歳)・卒寿(九十歳) ・白寿(九十九歳) など、いづれも 数え年

・今年ご祈祷希望者はどなたでも

★厄払い・三千円

- ◎豆まき◎祈願読上げ
- ◎お加持◎厄札◎絵馬
- ◎福豆のお土産等

★一般祈願・千円

円(◎節分札◎祈願読上げ)

◎本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着など、身に着ける物をお預け下さい。

追膳は元日より八日まで

お休みです

お正月は位牌堂・永代供養堂に上げます『追膳』がお休みとなりますので、各自「お供え餅」を上げるかまたお寺に注文し上げてもらって下さい。(五百円)
(注)お餅は数に限りがありますので、お早めに!

檀信徒研修会は三月まで

お休みです

どうか檀信徒の皆様は、一月五日より二月二日までの『寒修行』に是非参加して修行してみてください。

各『会費』納入のお願い

檀信徒の皆様で、まだ平成二十九年度の『護持会費』『位牌堂管理費』『トーロー代(提灯)』『聖徒団会費』等の納入がまだされていない方は、どうかご協力をお願い致します。

この中で『護持会費』は、全檀家の皆様に「日蓮宗々門」と宗教法人「蓮華寺」の護持運営の為にお願いしています。

また『位牌堂管理費』は位牌堂の電気・掃除等のメンテナンス代、『トーロー代』は大行事の際に下げます提灯の電気・修理費等、『聖徒団会費』は月初めの家内安全の祈願料と聖徒団の運営費として、いずれも加名者の方のみをお願いしています。
なお平成三十年度分も、よろしくお願い致します。

昭和二年に完成し、昭和二十年の青森大空襲にも耐えてきました蓮華寺『大本堂』、現在青森で一番古い建物となりました。
どうか、皆様のお力で守り続けていきましょう。

『位牌壇』募集!

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様のご先祖や仏様が代々に渡り護られています。

★仏様のご命日に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますしまたお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

【会費・年二、四〇〇円(月二百円)】

『靈断』

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。
日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。(一件・三千円)

伝道部からの御礼とお願い

部長 小野 正春

昨年度も檀信徒の皆様への修行としまして、一月五日～二月二日までの二十九日間の『寒修行』、四月～十一月までの月一回の『檀信徒研修会（お経と唱題行）』は、たくさんの方が参拝され、無事成功の内に終える事が出来ました。

その他伝道部では、「図書・カセットテープ・CD・DVD」等の貸出もしていますので、どうぞご利用下さい。どうか、今年も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

奉仕部からの御礼とお願い

部長 山田 兼補

昨年度は「年中行事」の他、春と秋のお彼岸また夏のお盆の「追膳」のお手伝い、更に「御会式の花作り」等の奉仕活動がありました。が、教宣部員と一般檀信徒の皆様のご協力により、無事終了する事が出来ました。

今後、教宣部員以外の檀信徒の皆様でも、菩提寺「蓮華寺」の為に協力戴ける方は、ご遠慮せずにお手伝いをよろしくお願い致します。どうか今年も頑張つて奉仕活動をしましょう。

教宣部からの御礼とお願い

部長 杉淵 昌三

皆様もご存知のように、お寺の行事は様々のお手伝いがあり、沢山の皆様のご協力が必要です。

『教宣部』は、まず『奉仕部』より依頼がありますとお寺の行事を中心に奉仕活動をします。

その他、昨年は部員の長年に渡る功労を祝して「喜寿を祝う会」、合わせまして部員同士の親睦を図る「交流会」を開催致しました。

このように、お寺はとても楽しい所です。どうか檀信徒の皆様の中で、菩提寺の為に先祖の為に自分自身のご信仰の為に活動したい方は、迷わず『教宣部』に入部して下さい。お願い致します。

教宣部員募集中！

☆奉仕のお知らせ

平成二十九年十二月

三十一日(日) 元旦祝祷会のお手伝い 午後十時より

【教宣部・男女共沢山】

*新しい年に向けての奉仕活動、ご参拝を兼ねながらよろしくお願い致します。

平成三十年一月

三日(水) 元旦祝祷会の後片付け 午前十時より

【教宣部・男女共沢山】

*ちようちんや幕・幟などの後片付けです。

平成三十年二月

三日(土) 節分会のお手伝い 午後三時より

【男女共沢山】

◎奉仕部長・山田兼補 ◎教宣部長・杉淵昌三
◎伝道部長・小野正春

(注)部員以外でお手伝いの出来る方も、当日時間までお集まり下さい。



一日(月) 元旦祝祷会 午前0時より

・年の始め、自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・お経は、聖典(お経本)を最初から順にゆつくり読みますので、皆様と一緒に唱えましょう。

・お正月の法要はこの一回のみで昼はありません。

②一月分の『盛運祈願会』は元旦には行いません。

十三日(土) 日蓮大聖人の御命日 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)

・お経 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)

・皆様も、大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目と一緒に唱えましょう。

③『十三日のお勤め』のお経練習用の「カセット・CD・お経本」は事務所にてお求め下さい。

寒修行(唱題行)

一月五日(金)～二月二日(金)【二十九日間】

午後七時～午後八時迄

於：小本堂

せつ ぶん え 節 分 会

二月三日(土)

午後六時より



(厄払い・豆まき・法楽加持・祈願あり)

* 厄払いと一般の祈願は一月十日より受け付けます。

② 豆まきを行いますのは、年男・年女としおとこ としおんな いぬ やくどし(戌年)、厄年、その他
本年度ご祈祷希望者の方となります。